

# あきたの うららかな 504 2019.3.25 ちかちか

「これは木ですか？」

表紙の写真は「第16回美しく豊かな農村づくり写真コンクール」にて棚田オーナー賞を受賞した作品です。男の子の不思議そうに見つめている表情がなんとも可愛らしく、見ているこちらまで微笑ましくなりますね。そして、今年度開催された「第19回美しく豊かな農村づくり写真コンクール」の入賞作品については、本会会報誌やホームページでも紹介しています。是非ともご覧ください！

撮影者／井波 栄子 様



イメージキャラクター  
みどりちゃん



CONTENT 1 本会第61回通常総会を開催

CONTENT 2 全国水土里ネット表彰式

# ◆ 本会第61回通常総会を開催 ◆



▲高貝会長挨拶

3月15日(金)本会第61回通常総会が秋田市文化会館で開催され、会員100名(内、委任状43名)が出席した。

開会にあたり、高貝会長が、「本年は、時代の大きな節目の年である。本会は、これまでの60年間で培ってきた実績と経験を糧に、更なるスキルアップも図りながら、『強い農業』と『美しく活力ある農村』の実現のために、全力を尽くしていきたい」と挨拶を行った。引き続き功労者表彰が行われ、6団体と個人13名が栄えある表彰を受けた。その後、来賓の秋田県副知事 川原誠様、東北農政局長 鈴木良典様、全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎まさお様よりご祝辞を頂いた。

議事では、佐藤辰雄理事長(美郷町千畑土地改良区)を議長に選任し、平成29年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録、平成30年度一般会計収支補正予算(理事会専決処分)、平成31年度事業計画・一般会計収支予算等が審議され、これらの議案はすべて原案通り承認並びに議決された。平成31年度事業計画の重点項目として、(1)農業の競争力強化と国土強靱化の支援、(2)土地改良区体制強化の支援、(3)豊かな農村環境づくりへの支援、(4)活力に満ちた地域活動への支援、(5)水土里情報システム利活用による支援が位置づけられた。また、役員の補欠選任がなされ、役員の新体制が充足した。最後に藤原専務理事による「決議文」が朗読され、満場一致で採択された。



▲来賓祝辞 宮崎様

なお、表彰者と選任された役員は次の通り。

総会直後には理事・監事による互選会が行われ、副会長や総括監事等を決定した。

## 平成30年度秋田県土地改良功労者表彰

### 団体表彰

【金章】 雄和中央土地改良区  
由利本荘市土地改良区  
仙北市黒倉堰土地改良区  
湯沢市中央土地改良区

【銀章】 峰浜土地改良区  
八郎瀧土地改良区



### 個人表彰

薩摩勝幸(秋田県能代地区土地改良区副理事長)、大石専之丞(戸村土地改良区副理事長)、後藤幸三(大潟土地改良区理事長)、佐々木良英(左手子土地改良区理事長)、村上三敏(由利本荘市土地改良区監事)、今野登(大仙市大曲土地改良区理事)、熊谷隆一(秋田県田沢疏水土地改良区副理事長)、斎藤幸雄(秋田県西仙北土地改良区副理事長)、熊谷正(秋田県南旭川水系土地改良区理事)、藤井明美(大森土地改良区会計主任)、後藤利市(稲川土地改良区理事)、最上保男(湯沢市中央土地改良区事務局長)、沼倉美知子(稲川土地改良区施設管理課長)  
(敬称略)

## 【選任された役員】

役職	支部	所属団体名	職名	氏名
副会長	平鹿支部	秋田県南旭川水系土地改良区	理事長	藤井 弘道
理事	大館・北秋田支部	北秋田市土地改良区	理事長	成田 光弘
理事	由利支部	由利本荘市土地改良区	理事長	三浦 昭夫
常務理事	員外	秋田県土地改良事業団体連合会	参事	金森 正広
総括監事	鹿角・大館・北秋田・山本区域	二ツ井町土地改良区	理事長	石山 金由
監事	仙北・平鹿・雄勝区域	山城水系土地改良区	理事長	高田 清茂



## 決 議

### 記

- 農業競争力の強化を図るため、農地の大区画化や水田の汎用化・畑地化を一層推進すること。特に、農地中間管理機構と連携したほ場整備事業については、地域の状況に応じて柔軟に対応できる施策を講ずること。
- 国土強靱化を図るため、ため池等の農業水利施設の適切な保全管理と耐震化を計画的に実施できるように十分な支援を行うこと。  
また、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律案」の早期成立を図るとともに、地域の状況に応じて適切な運用が図られるように必要な措置を講ずること。
- 本年4月から施行される改正土地改良法が適切に実施され、水土里ネットの運営基盤が強化できるように、その啓発普及を図るとともに円滑な運用についての支援を充実すること。
- これらの事業を円滑に実施できるように、現場のニーズに十分応えられる規模の農業農村整備当初予算を確保すること。

平成31年3月15日

秋田県土地改良事業団体連合会 第61回通常総会  
(水土里ネット秋田)

## 目 次

### CONTENTS

本会第61回通常総会を開催	2	2018水土里の語り部交流会inやまもと	12
水土里ネット秋田要請活動	4	おらほの自慢っこ～来てくれ！羽後町～（羽後町農林課：矢野 和憲）	13
全国水土里ネット表彰式ー県内受賞者についてー	4	ようこそ土地改良区へ（潟上市天王土地改良区：鈴木 龍一）	14
農業農村整備に関する説明会（予算キャラバン）が開催される	5	随想（稲川土地改良区：沼倉 美知子）	15
土地連OB会定例会・20回記念事業を開催	6	第19回美しく豊かな農村づくり写真コンクール	15
土地改良区体制強化事業に係る各委員会の開催	7	水土里レポーターによる写真投稿	
新たに合併した土地改良区について	8	（秋田県能代地区土地改良区 総務課長：三浦 誠樹）	16
「水土里キッズのわくわく探訪みたね」平成30年度農業農村整備事業広報奨励賞受賞	9	連合会日誌、会員だより	16
土地改良区の維持管理計画の変更手続が簡素化されます！	10	リレー感想文（北秋田市土地改良区 工事係：三沢 諭司）、編集後記	16
第3回水土里の広報委員会開催	11		

# 水土里ネット秋田要請活動

高貝会長は、1月23日(水)に東北農政局へ、1月24日(木)に農林水産省へ平成31年度土地改良予算の要請活動を行った。



▲東北農政局鈴木局長への要請活動



▲農林水産省農村振興局太田次長への要請活動

## 全国水土里ネット表彰式 — 県内受賞者について —

3月26日(火)東京都千代田区の砂防会館別館(シェンバツハ・サボー)にて、第60回全国土地改良功労者等表彰式が全国水土里ネット通常総会に合わせて行われます。今年度の本県関係の受賞者は次の通りです。

### ● 第60回全国土地改良功労者等表彰

<団体表彰>

- 金章 秋田県仙南土地改良区
- 銀章 稲川土地改良区
- 秋田県協和土地改良区

<個人表彰>

- 役員 若松 健悦 (能代市東土地改良区理事長)
- 職員 伊藤 和美 (秋田県雄物川筋土地改良区事務局長)
- 職員 古谷 和明 (大仙市大曲土地改良区事務局長)

### ● 平成30年度農業農村整備優良地区コンクール表彰

【農業振興部門】

- 農村振興局長賞 平沢地区 (雄和中央土地改良区)

(敬称略)

# 農業農村整備に関する説明会 (予算キャラバン)が開催される

1月29日(火)秋田県庁第二庁舎8階大会議室にて、秋田県が主催する農業農村整備に関する説明会(予算キャラバン)が行われた。キャラバンには、県内全域の土地改良区の役職員、市町村担当者、秋田県農業公社職員など多数の関係者が参加し、本会からも高貝会長他役職員5名が出席した。



会場の様子



秋田県農林水産部 佐藤暢芳次長

開会に当たり、主催者として秋田県農林水産部の佐藤暢芳次長が「農業農村整備を推進していく上で不可欠な国の予算について、平成30年度補正と平成31年度当初を合わせて**6,451億円**と、**今年度の5,800億円を大幅に上回る額となった**。この結果はひとえに闘う土地改良の下、農林水産省は元より高貝会長を先頭に市町村、土地改良区の皆さまが各方面へ働きかけを行った努力が結びついたものであり、県として非常に感謝している。本県としては、**農業の振興無くして秋田県の発展は無い**という信念の下、各種施策を講じているところである。特に長年の**米依存からの脱却を図るべく、圓芸メガ団地の整備を始めとする複合型生産構造への転換を強力に進めている**。これらの基礎となる**水田を大区画汎用化するために、ほ場整備や農業水利施設の整備といった農業農村整備事業が非常に大きな役割を果たしている**。引き続き秋田県の重点施策として取り組んでいきたい」と挨拶された。

続いて農林水産省農村振興局整備部日置秀彦農地資源課長が「予算



農林水産省農村振興局整備部  
日置秀彦農地資源課長

総額については、これまで各方面の地域の方々よりご要望頂いていたが、お陰様で大きな額を確保することが出来た。昨年は全国的に災害に見舞われ、改めて**政府の中では如何に国土強靱化へ取り組んでいくかが課題**となっている。国土強靱化に向けての**臨時特別措置の予算(3年間に限る)**も付いたことで、**予算総額そのものだけでは無く、様々な地域からの要望を踏まえた予算の事業内容及び農家や地方公共団体の負担軽減、事業精度の充実がなされてきたところである**と予算や国の方向性について挨拶の中で述べられた。

本会高貝会長も「私どもの土地改良予算は政権交代前を超える額となった。これもひとえに本日ご臨席の**農林水産省職員の皆様、東北農政局職員の皆様のご指導・ご鞭撻、そして本日お集まりの皆様の悲願を込めた声**が永田町霞ヶ関へ届いた**結果である**。改めて皆様方のご協力に感謝申し上げます。政府からは**力強い農業と、活力ある農村社会実現**のために、このような膨大な予算を付けて頂いた。私たちはこの予算を合理的に運用し、**日本の農業そして秋田の農業の発展のために有意義な形で活用**することが求められている。今後とも皆様と一緒に汗を流し、**明日の農業農村の発展のため、そして私たちの子や孫が喜んで後継出来るような基盤、地盤づくりに邁進**して参りたい」と挨拶の中で、今後の土地改良事業への意気込みを語った。



高貝会長



説明会の様子

説明会では「平成30年度補正予算及び平成31年度当初予算概算の決定の概要、新規・拡充事業等」、「農業用ため池の防災対策の強化に向けて」、「**基盤整備**

と農地中間管理機構との連携」について質疑応答を交えての説明会がなされた。

予算については平成31年度当初予算が昨年度より**651億円の増**となっており、その中でも今まで減少傾向にあった「**農山漁村地域整備交付金(公共)(農業農村整備分)**」が4年ぶりに増額となり720億円(前年比112.6%)となっている点について説明がなされた。

また、農業農村整備事業の概要の中では「**農業競争力基盤整備**」前年度比**236.9%**と「**農村地域防災減災**」前年度比**157.7%**と大幅に伸びていることと併せて昨年の自然災害をふまえて**政府全体で防災減災、国土強靱化へ努めている**ことが挙げられた。

# 土地連OB会定例会・20回記念事業を開催

3月8日(金) 平成31年度土地連OB会定例会が秋田市「イヤタカ」で開催され**20回目の開催を記念し、記念講演**も行われた。

定例会の開会にあたり、後藤至土地連OB会会長は、「OB会の目的は退職者が元気で相互の親睦を図ることであり、20回の節目の年に皆さんと再会できたことは大変喜ばしい」と挨拶を述べた。

続いて、来賓として本会の高貝会長より、「本会も創立60周年を迎え、今の水土里ネット秋田があるのも先輩の皆様方が、本会発展のために長年にわたり尽力して頂いたお陰である。ひとつの節目を経た今、多くの皆様から喜ばれる水土里ネット秋田を目指し、努力して参りたいので今後ともご指導、ご支援を賜りたい」との挨拶があった。

続いて、議案審議に入り、平成30年度事業報告及び収支決算の承認、平成31年度事業計画及び収支予算と会則の一部改正について原案どおり議決された。



定例会終了後は、記念事業として、講師に秋田テレビ株式会社代表取締役社長の石塚真人氏を迎え、「放送と共に歩んだ40年」と題し**記念講演**を行った。石塚氏が放送と歩んだ40年を振り返りながら、殺人事件のスクープをとらえた話に参加者は聞き入っていた。最後は、健康に気をつけながら、これからも夢と希望を持って生きて行こうと締め括った。

懇親会では、年に一度の再会を喜び、和気藹々と語り合いながら、次回も元気で再会することを誓い閉会した。



# 秋田県管理運営体制強化委員会 秋田県受益農地管理強化委員会

3月13日（水）土地改良区体制強化事業に関連した平成30年度秋田県管理運営体制強化委員会並びに秋田県受益農地管理強化委員会が開催された。

管理運営体制強化委員会は、8名の委員（内、代理出席2名）と6名の幹事の出席により会議が行われた。

冒頭、本会の専務理事である藤原委員長が「改正土地改良法の第2段が昨年6月に公布され、一部を除きこの4月から施行の運びとなっている。本事業でも来年度から新規拡充として『複式簿記導入に係る巡回指導』や『会計の専門家による相談窓口の開設』が追加されるほか、水利施設等保全高度化事業に『資産評価データの整備』が追加されるなど、土地改良区に対する支援が強化されてきている。本日の委員会では、29年度の実績、今年度の実施状況を審査いただくと共に、来年度の事業計画を検討していただきたく、効果的な事業の実施に向け、委員皆様の忌憚のないご意見をお願いしたい」と挨拶を行った。

議事に入り、土地改良施設の診断・管理指導や施設管理等に関する苦情・相談等の対策、財務管理強化重点地区の指導、研修・人材育成などの各事業メニューに対する平成29年度事業実績報告並びに平成30年度事業実施状況などの説明が行われた。



管理運営体制強化委員会の様子

次に来年度の事業計画案として、土地改良施設の診断・管理指導、新規拡充部分を盛り込んだ財務管理強化地区の指導などの事業内容の説明がなされた。いずれの協議案件についても出席委員全員の賛成により承認された。

引き続き、受益農地管理強化委員会が開催され、10名の委員（内、代理出席2名）と5名の幹事の出席により会議が行われた。

同委員会の藤原委員長の挨拶に続き、議事が行われ、換地選定に関する指導や換地技術向上のための研修、財産管理制度活用に関する指導を事業メニューとする平成29年度実績報告、平成30年度実施状況、平成31年度事業計画（案）などの説明がなされた。いずれの協議案件も出席委員の賛成により承認された。議事終了後には、効果的な事業の推進に向けた活発な意見交換の後、委員会を終了した。

## 〔平成31年度土地改良区体制強化事業の主な実施計画〕

### ○土地改良施設の管理指導業務実施計画（案）

区分	指導土地改良区等数					指導施設数							
	土地改良区	市町村	農協	水利組合等	計	ダム	頭首工	用排水路	樋(水)門	ため池	水路	その他	計
定期診断指導	40	2	0	0	42	6	16	53	2	22	0	1	100

※要請診断指導については、随時対応の予定

### ○施設・財務管理強化対策（新規拡充）

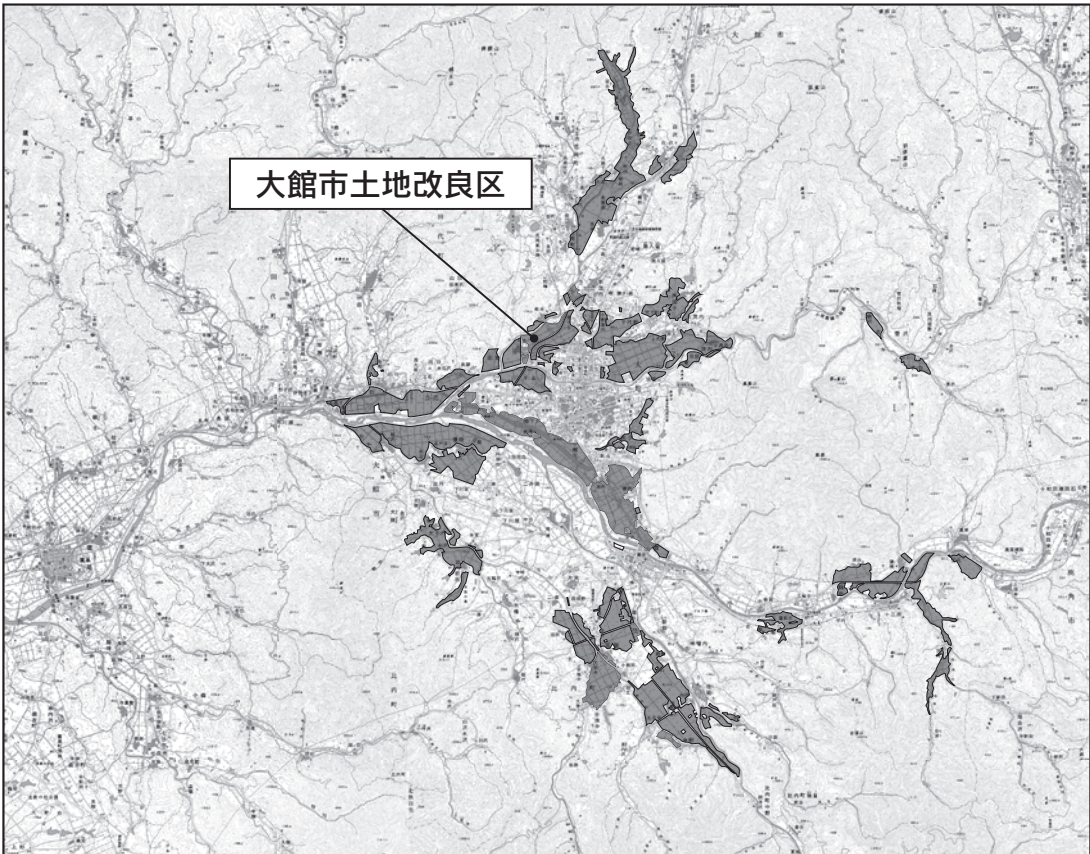
- ①土地改良区の複式簿記導入に係る巡回指導（31地区予定）
- ②会計の専門家による会計経理の相談対応

### ○換地事務実施計画（案）

区分	項目 種別	地区面積	計画原案	計画書作成	計画決定	換地処分	確定測量
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
県	ほ場整備	49工区 7,557.7	5工区 1,042.1	4工区 559.6	8工区 1,241.0	8工区 1,241.0	6工区 750.2
	公特事業	1工区 36.0			1工区 36.0	1工区 36.0	
営	機構関連	6工区 145.2	2工区 57.3				
	合計	56工区 7,738.9	7工区 1,099.4	4工区 559.6	9工区 1,277.0	9工区 1,277.0	6工区 750.2

## 大館市土地改良区

- 合併土地改良区 大館市南土地改良区、大館市土地改良区、大館市十二所土地改良区、比内町土地改良区
- 合併形態 新設合併
- 合併認可 平成31年1月29日
- 理事長 佐藤 恭一
- 面積 2,884ha
- 組合員数 2,916人
- 所在地 大館市字沼館道南40-12
- 連絡先 TEL.0186-42-0558 FAX.0186-59-8530





# 水土里キッズのわくわく探訪inみたね

## 平成30年度農業農村整備事業広報奨励賞受賞

平成30年7月14日(土)に開催した「水土里キッズのわくわく探訪inみたね」が、平成30年度農業農村整備事業広報奨励賞を受賞し、3月7日(木)開催の「平成30年度東京フォーラム」(会場:東京都千代田区北の丸公園「科学技術館・サイエンスホール」)において表彰式が行われた。

この賞は、全国農村振興技術連盟が農業農村整備事業に係る**広報活動の面で特に顕著な功績のあった団体**に対し表彰するもので、今年度で28回目となる。



### 「水土里キッズのわくわく探訪 in みたね」について

- 開催月日：平成30年7月14日(土)
- 開催場所：秋田県山本郡三種町
- 参加者数：34名(児童・保護者)
- 協力団体：秋田県山本地域振興局農林部農村整備課、三種町農林課、水土里ネット秋田山本支部、秋田県能代地区土地改良区、三種町浜口土地改良区、水土里の広報委員

「わくわく探訪」は自然豊かで農業が盛んな秋田の魅力の後世まで伝えていくため、様々な体験を通して、県内各地の子どもや保護者に秋田の「農業・農村」に対する理解と関心を深めてもらうために平成9年度より毎年開催している。

22回目を迎える今年度の探訪は、山本郡三種町を舞台に、農業水利施設の見学及びメロンの収穫体験などを行った。



## 土地改良区の維持管理計画の変更手続が簡素化されます!

農林水産省では、維持管理計画の変更手続の合理化を図る観点から、平成31年4月1日以降、土地改良区の組合員の同意省略の範囲を見直すこととしております。

これにより、土地改良区は、施行地域を変更する場合を除き、維持管理計画書の変更について組合員の同意徴収手続を省略することが可能となります。

今後、土地改良区において維持管理計画の変更手続が適切に行われるよう取組をお願いします。

平成31年2月  
農村振興局  
土地改良企画課

### 維持管理計画の変更手続の見直し (同意省略の拡大)について

#### 1. 改正のポイント

維持管理計画の変更手続の合理化を図る観点から、土地改良区の維持管理計画の変更手続については、施行地域を変更する場合を除き、組合員の同意手続を省略し、総会又は総代会の議決により、都道府県知事の認可を受けることができるようにします。

#### 2. 改正の背景

土地改良区が維持管理計画の重要な部分を変更する場合には、組合員の2/3以上の同意を得る必要がありました。しかし、土地改良区の場合は、維持管理に関しては、総会又は総代会の議決を経ることで、直接又は間接に組合員の同意を得ていることから、組合員の意思確認手続が二重となっていました。

このため、土地改良区の維持管理計画の変更手続の合理化を図る観点から、維持管理計画を変更する場合(施行地域を変更する場合を除く。)に必要とされていた組合員の同意手続を省略できるよう省令等の改正を行います。

#### 3. 改正のスケジュール

平成31年4月1日施行予定

# 第3回水土里の広報委員会開催

3月5日（火）本会第1会議室にて今年度最後となる「第3回水土里の広報委員会」が開催された。

初めに本会水戸常務理事より「今回で3度目の広報委員会なので皆さんもだいぶ広報の中身が分かってきたのではないかと思います。今回は今度発刊する『水土里ネットだよりVol.3』についての意見交換を行い、より良い水土里ネットだよりにして頂きたい。また、**ゴミゼロ運動に関しては今年10年目**という節目の年でもあり、10年を1つの区切りとしてやってきたが、水土里ネットだけではできない部分もあるので、他の層へ展開する必要がある。水土里ネットの価値浸透のためには、実践することが大切であり、このことを念頭に長年継続してきた『わくわく探訪』が皆さんの協力のお陰で**今回NN機関の奨励賞を受賞**することができた。最後に、私は今年の3月で退任するが、今後、皆さんの力でより良い広報を作っていけるよう願っている」と挨拶があった。



今回は、前回の委員会でも出された意見を踏まえ編集した「**水土里ネットだよりVol.3**」の実際の校正原稿を基に、広報委員の方々からそれぞれ意見を出し合ってもらった。

広報委員の方からは、「去年より写真が多く、字も大きいので全体的に見やすくなり内容も絞られているが、字の色や背景の色によっては見にくい箇所もある」といった意見や、「表紙のタイトルの文字の色を変えたらどうか」、「わくわく探訪のページの子どもの名前にもふりがなをつけたらどうか」など細かな部分まで意見を出してもらった。

話し合いの後、事務局から「**支部だより**」についての内容や更新方法、「**ゴミゼロ運動**」、今年度「水土里の広報委員会」活動のまとめに関して報告がなされた。

最後に本会水戸常務理事から「現在、水土里ネットの広報活動については、全国を見ても21世紀創造運動という名前で行っているところは少なくなったが、違う名前で活動しているところは沢山ある。そこで今回の水土里ネットだよりを**秋田県内全ての多面的活動組織に配って**



頂き、自分たちと同じ活動をしているところがあるということも多くの人に知ってもらいたい」とお話しがあった。

今回は今年度最後の水土里の広報委員会だったが、今までの集大成として話し合いでも出された意見やアイデアを「水土里ネットだよりVol.3」に反映させることができた。来年度も広報委員全員で一致団結し、より良い広報活動ができるよう盛り上げていきたい。



2018 **水土里の語り部交流会**  
inやまもと

水土里の恵みを次の世代へ伝承  
～能代・やまもと水物語～

1月23日(水)三種町琴丘総合体育館にて「2018 水土里の語り部交流会 in やまもと」が開催された。秋田県では平成23年から「語り部交流会」が毎年開催されており、今年で8回目を迎える。



▲小川支部長

開催にあたり、主催者代表 秋田県土地改良事業団体連合会山本支部 小川支部長より「この山本管内には青森県との県境にある白神山地があり、そこから流れる**清流**は山本の多くの農地に潤いを与えている。江戸時代

には何本もの水路を作る疏水工事が行われ、数え切れないほどの先人たちの想いが山本には伝わっている。偉大な先人たちに敬意を示すと共に、この交流会を有意義なものとし後世までこの交流会を受け継いでいきたい」と挨拶があった。



▲菅原徳蔵氏

始めに、**基調講演**としてふるさと水と土指導員 あきた森づくり活動サポートセンター総括所長 菅原徳蔵氏より「**桃源郷のふるさと**」と題し、**白神山麓「桃源郷物語」、秋田藩初の穴堰・400年の歴史**

「**岩堰物語**」、**農業農村の文化・「森岳歌舞伎」**の3

つのテーマについて講演してもらった。

続いて、「**学校は地域の宝、地域は学校の宝**」について特定非営利活動法人 常盤ときめき隊 理事長 小林甚一氏、「**農業用施設の維持管理と地域との交流**」について水土里ネット能代地区 事業課 事業係 主事 菅原理央氏、「**真瀬溪谷山腹水路の保全と中山間地域（八森）の農業**」について株式会社真瀬ファーム 総務部長 山本優人氏の3名にそれぞれ**地域活動報告**について発表してもらった。

次に、**地域土地改良ヒストリー「砂丘地でのメロン栽培・複合経営への歩み**」について水土里ネット 浜口 前理事長 三浦政夫氏よりメロンとの出会いから、どのようにして「**プリンスメロン**」を地域に定着させたのか、そしてメロンとこの地域のために奮闘した経緯について説明があった。

最後に語りフォーラム「**能代・山本の水物語を次世代に継げる**」をテーマに特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター 奥ちひろ氏をコーディネーターに迎え、パネラーとして本日講演して頂いた4名の皆さんの他、オブザーバーとして秋田県農林水産部 農山村振興課 石川政策監も加わり意見交換を行った。



▲宮野次長

閉会のあいさつを秋田県山本地域振興局農林部 宮野次長より「秋田県の農業を守り育てている農村との関係は科学がいくら進歩しようとも決してなくしてはいけない貴重な関係だと思っている。先人の教えを後世にまで

語り継いで行くことを一人一人が肝に銘じてこれからの農業農村をますます発展させることが大事だ」とあいさつがあり、今年度の水土里の語り部交流会は締めくくられた。

(「2018 水土里の語り部交流会 in やまもと」については本会HPのブログでも詳しく掲載しております)

# 来てくれ! 羽後町

羽後町農林課  
矢野 和憲

## にしもないぼんおどり 西馬音内盆踊り(毎年8月16日~18日)



西馬音内地区で古くから受け継がれてきた伝統行事であり、先祖の慰霊と豊穣祈願の意味を持つ、地域住民にとって大切な3日間です。賑やかに野性的なお囃子と、流麗な美しい踊りが特徴で、その幻想的な雰囲気を楽しむために全国から観光客が訪れています。

## 道の駅うご <sup>はぬ</sup>端縫いの里



2016年にオープンした道の駅では、地元の新鮮な農産物や加工品が並び直売所のほか、西馬音内そばを気軽に食べられるレストランやカフェ、秋田では珍しい本場のジェラートが味わえるお店もあり、町内随一の人気スポットとなっています。

## 飯沢地区の鈴木家住宅と染付蔵



秋田県内では最も古いといわれ、国の重要文化財にも指定されている、町を代表する茅葺き民家です。現在も当主家族が住んでいる珍しい文化財で、在宅時であれば見学も可能となっています。

## 西馬音内のそば



つなぎに布海苔が使われ、強めのコンシと甘口のだしつゆが特徴。冬でも冷たいつゆに浸して食べるのが常識で、町民からは「冷がけ」として古くから愛されてきました。町内には多くのそば店があり、味や食感などそれぞれに明確な個性が存在するため、食べ比べをするのも醍醐味のひとつ。

## 雪とぴあ七曲(毎年1月最終土曜日)



県内有数の積雪量を利用し、昭和61年から続けられているイベント。峠道を馬そりに揺られながら越えていく昔の花嫁道中を再現しており、たくさんのろうそくに照らされた峠の雪景色はとても魅力的。寒さの中、カメラ片手に観覧している方も多くいます。

## 園芸メガ団地



町では園芸品目の更なる生産拡大と生産額の飛躍的な向上を図るため、販売額1億円を目指す大規模な園芸団地の整備を進めてきました。その中で、新成地区に完成した園芸団地では、ストックやトルコギキョウ、ひばり野オクラなどが生産されており、当町の園芸振興をリードする経営体として活躍が期待されています。



# 潟上市天王土地改良区の概況について

潟上市天王土地改良区

鈴木 龍一



天王東排水機場



天王西排水機場



多面的組織活動風景

本土地改良区は、既耕地の区画整理を主事業として昭和29年に設立された旧南秋田郡天王町土地改良区と、国営八郎潟干拓事業の一環として造成された地先の増反配分に伴う、昭和36年設立の旧八郎潟南部干拓地区土地改良区、同じく昭和38年設立の旧八郎潟南部干拓地区第二土地改良区、同じく昭和42年設立の旧八郎潟南部干拓地区第三土地改良区が、水系・維持管理の方法等全く異なった条件のもとに昭和54年に新設合併を致した土地改良区であり、平成17年の市町村合併にならい名称を天王町土地改良区から潟上市天王土地改良区に変更しております。

受益地は元々から在る既耕地と干拓事業で造成された南部第1工区・南部第2工区・南部第3工区の4地区で構成されており、既耕地（受益面積842ha）の幹線用排水路は、ほとんどが新城川土地改良区の管理となっており、当土地改良区の管理は土地総事業で整備済みの小用排水路がメインとなっております。南部1（受益面積149ha）南部2（受益面積133ha）南部3（受益面積159ha）地区も土地総事業、農地集積加速化基盤整備事業で、整備済みであります。

管理施設は、天王西排水機場、天王東排水機場、大藤崎排水機場と、排水機場の管理がメインの土地改良区となっており、近年稀にみる自然災害、ゲリラ豪雨等への対応、施設の老朽化等が課題となっております。



事務所のたたずまい

# 「随想」

シリーズ②④

稲川土地改良区

沼倉美知子



昨年から今年にかけて、枕詞のよ  
うに「平成最後の〇〇」とイベント  
や行事がある毎にこの言葉が付い  
てきました。まさしく後一ヶ月余  
りで「平成」が幕を下ろそうとして  
います。

私にとっての平成は結婚・出産・  
子育て：とあわただしく過ぎて  
いったのですが、とても充実した三  
十年でもありました。子供達が成人  
した現在も、子供を通して得た親同  
士のつながりは、かけがえのない貴  
重な財産になっています。

高卒で稲川土地改良区にお世話  
になったのは、昭和年代まだ平成に  
なる十年程も前のことです。その当  
時、定年に近づくことなど一ミリも  
考えていなかった自分。振り返って  
みるとあつという間だったように  
も感じますし、思い返すと色んなこ  
とがあつて長かったようにも感じ  
ます。

その間の事務機器の発展はかな  
り目まぐるしいものがありました。

私が土地改良区に入った当時、印刷  
は**ガリ版**(若い世代は知らないか：  
ググって下さい)が主流でした。そ  
れから、**青焼きの印刷機**(アンモニ  
アが臭かった)、**コピー機**(プリント  
の綺麗さに感動)、**和文タイプライ  
ター**(逆さ文字を探すのに手こずつ  
た)、**ワープロ**(フロッピ保存できる  
ことに感動)、そして**パソコン**とい  
うように導入されていきました。パ  
ソコンをはじめはマイツールとい  
う表計算やデータ処理に特化した  
ものでした。その後、Windowsが導  
入されると一台のディスプレイで  
同時にいくつもの画面を開くこと  
ができることに、かなり衝撃を受け  
た記憶があります。Windowsも  
バージョンアップが何度かありま  
した。新しいものが導入されるた  
びに、その事務機器と戦っていた自分  
を思い返します。

これまでの間、周りの方々に恵ま  
れて仕事が出来てきたことは、本当  
にありがたく感謝の気持ちでいっ  
ぱいです。新元号を迎える今、これ  
からも皆さんの協力をいただきな  
がら、目指すゴールに向かって努力  
していききたいと思えます。

## 第19回 美しく豊かな農村づくり写真コンクール

2月8日(金)写真コンクール審査会が行われ、  
入賞作品24点が決定しました。入賞作品につい  
ては本会HP「写真コンクール」のサイトにてご紹  
介しておりますので是非ご覧ください。

### 総評

高貝審査委員長「**全国から集まる日本部門**の写  
真を見ると写真の構成が非常に高くプロに近い  
ような写真ばかりであった。また、**秋田部門**の写  
真を見ると地域密着型の写真が多く、高齢化社  
会・人口減少といった中でも頑張っているとい  
う社会背景をうまく映し出していると思う。今年  
は全体的に中身の濃い写真が多い印象であった」

＜審査会の様＞



### ベストあきた賞

#### 「素晴らしき山麓」

佐藤 成公  
(撮影場所：由利本荘市矢島)



### 日本NN賞

#### 「田植え」

田中 容子  
(撮影場所：徳島県佐那河内山の上)



### 秋田県農林水産部長賞

#### 「新緑の山里」

九嶋 操  
(撮影場所：鹿角市八幡平小割沢)



# 三種町のじゅんさい

水土里レポーター：秋田県能代地区土地改良区  
総務課長 三浦 誠樹



秋田県三種町は「じゅんさい」の生産量が日本一です。じゅんさいは水面に葉を浮かべる水草の一種で、その茎から出てくる新芽を食用として摘み取りします。収穫時期は毎年4月下旬から8月下旬までとなっており、最盛期は6月頃です。町内のじゅんさい沼で摘み取り体験も行われておりますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 連 合 会 日 誌

2月26日	都道府県水土里ネット事務責任者会議	東京都
2月28日	栄南部地区竣工式並びに竣工祝賀会	横手市
3月5日	秋田県農業集落排水連絡協議会研修会	秋田市
3月5日	全国水土里ネット理事会	東京都
3月6日	平成30年度基金管理委員会	本会第1会議室
3月7日	平成30年度平鹿支部役職員研修会	横手市
3月12日	平成30年度秋田県土地改良区統合整備推進協議会	本会第1会議室
..... 今後の行事予定 .....		
3月26日	第48回秋田支部通常総会	秋田市
3月26日	全国水土里ネット平成31年度通常総会	東京都
3月26日	第60回全国土地改良功労者等表彰式	東京都
4月22日	第1回監事会	本会第3会議室
4月22日	第1回理事会・第1回役員会	本会第1会議室
4月26日	全国水土里ネット会長・事務責任者会議	東京都

## 会員だより

### 新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。  
○由利本荘市土地改良区(H31.2.5)  
理事長 三浦 昭夫

### リレー vol.16 感想文



毎号たくさんの情報が掲載されており、読み応えがあります。編集ご苦労様です。

北秋田市土地改良区

工事係：三沢諭司

## 編集 後記

寒かった冬も明け、段々と暖かくなり春に近づいてきましたが、それと同時に長いようで短かった今年度が終わろうとしています。

私は、春といえばやはり「桜」を思い浮かべてしまいます。日本の代表的な花である桜ですが、今や日本のみならず世界中の方から愛されるようになりました。冬の間待ち焦がれていた桜を見ると色々な感情がリセットされ新鮮な気持ちにさせてくれます。

来年度からはいよいよ新しい元号となり、新しい時代が始まります。水土里ネット秋田でも電話の保留音が新しく水土里ネット秋田のテーマソングとなりました。新しいことづくめの来年度ではありますが、変わらず精進して参ります。  
(事業調整センター◆寺澤)

